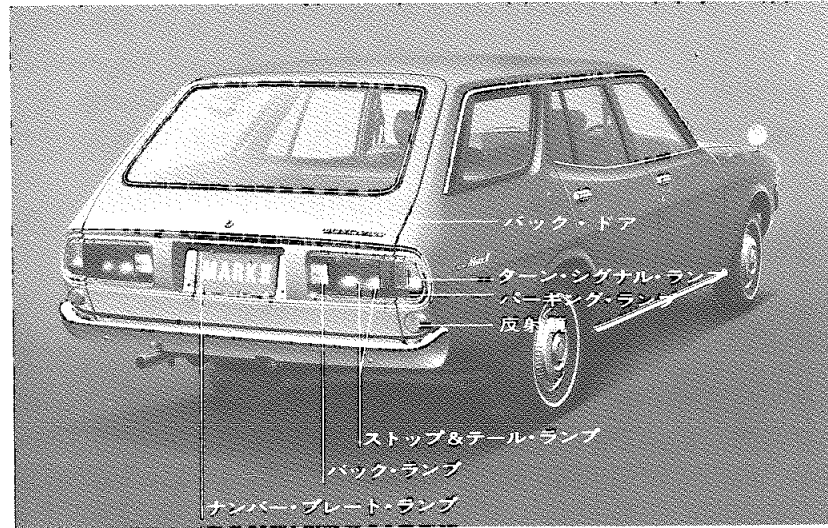
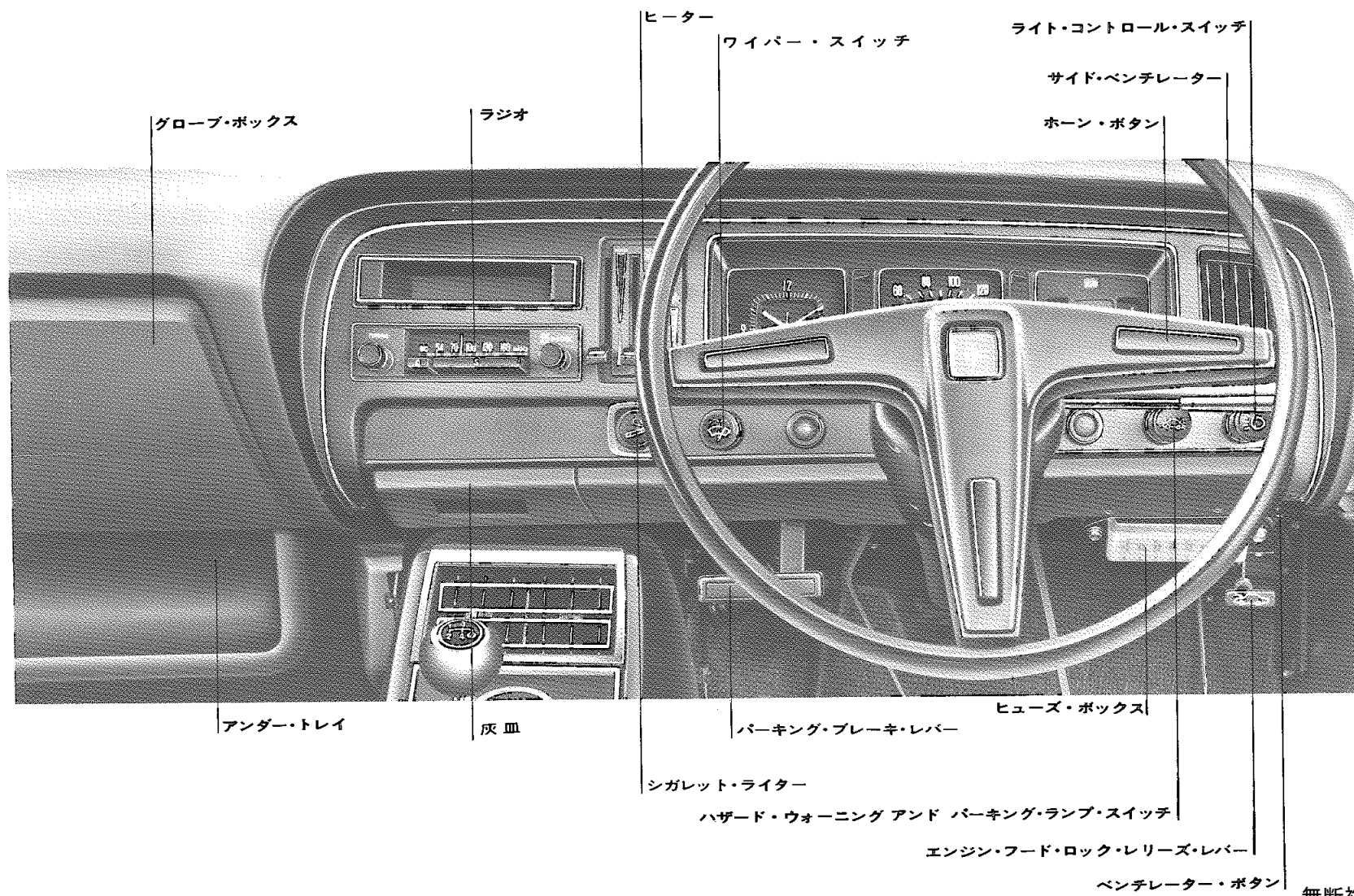




装備の知識について





グローブ・ボックス

ラジオ

ヒーター

ワイパー・スイッチ

ライト・コントロール・スイッチ

サイド・ベンチレーター

ホーン・ボタン

アンダー・トレイ

灰皿

パーキング・ブレーキ・レバー

ヒューズ・ボックス

シガレット・ライター

ハザード・ウォーニング アンド パーキング・ランプ・スイッチ

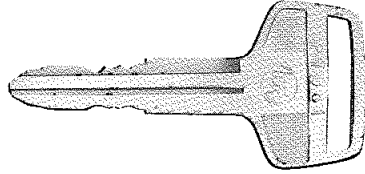
エンジン・フード・ロック・リリース・レバー

ベンチレーター・ボタン

ご乗車の前に

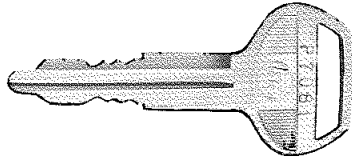
■キーの確認をしましょう

マスター・キー



(すべてのキーシリンダーに使用)

サブ・キー



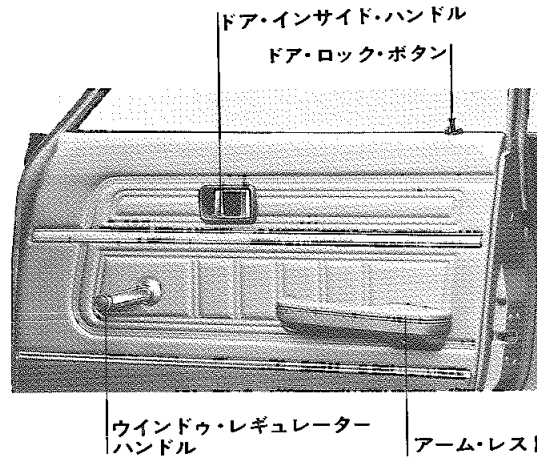
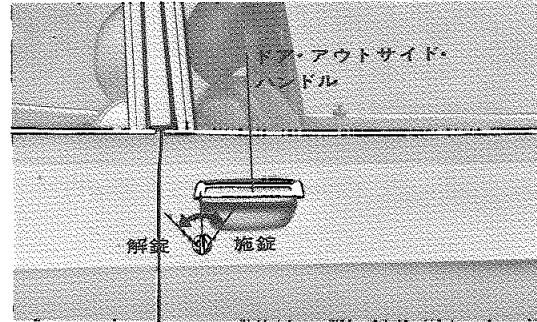
(トランクとグローブ・ボックス以外のキーシリンダーに使用)

サブ・キーはトランクとかグローブ・ボックスに貴重品を入れたままキーをつけて車を預けるときのなどにお使いください。

キー・ナンバーをひかえておきましょう。

万一、キーを紛失されたときは、取り扱い店にご相談ください。

■ドアについて



ドアを開けるときは

外側から……

ドア・アウトサイド・ハンドルを持ち上げます。

内側から……

ドア・インサイド・レバーを手前にひきます。

★注意

必ず後方確認をしましょう。

いきなりあけると後続車がぶつかる恐れがあります。

ドアを閉じるときは

安全のため2段ロック式になっています。

確実に締めましょう。

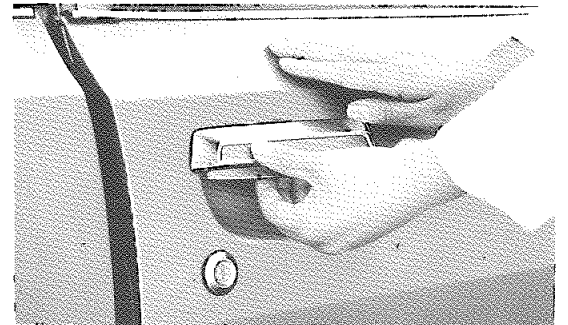
★注意

半ドアの状態では、運転中ドアが開く恐れがあります。

ドアをロックするときは

ロック・ボタンを押し下げます。

[フロント・ドア]

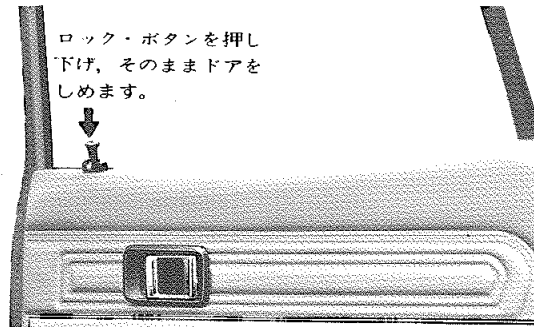


ドア・アウトサイド・ハンドルの内側のレバーを引きあげたまま、ドアを閉めます。

★注意

キーを車内に置き忘れないようにしましょう。

〔リヤ・ドア〕

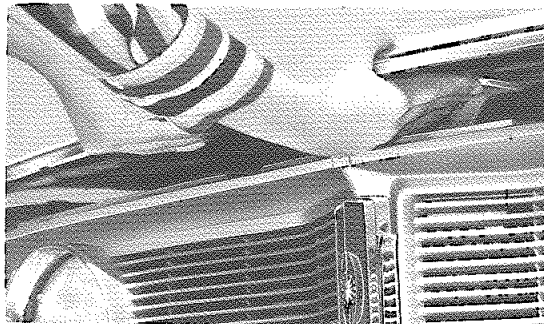


■エンジン・フードを開けるには



①計器盤下のノブを引きます。

ロックがはずれ、セフティ・ラッチがかかった状態になります。

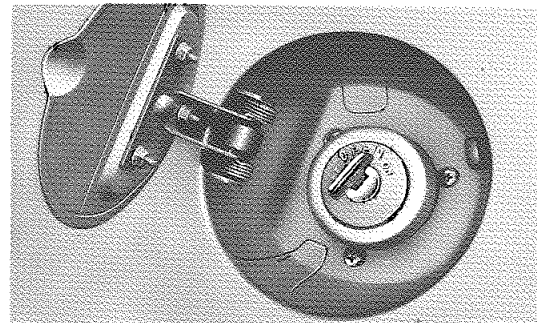


- ②エンジン・フードのすき間に手を入れセフティ・ラッチをはずしエンジン・フードをいっぱい開けます。
- ③閉じるときは、フードをさげて前端を押えつければロックします。

★注意

フードが半ロックの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには



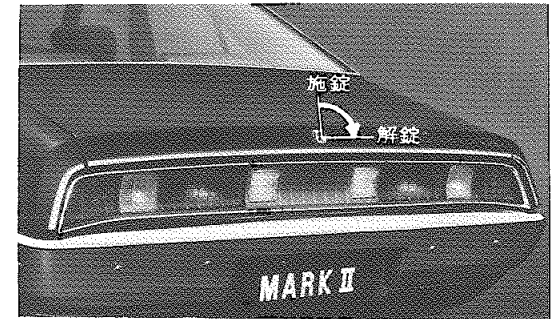
キャップにはロックがついています。キーをOFFにしてからキャップをOPENの方向にはわして取りはずします。

キャップを付けるときは、OPENと反対の方向にまわして、キーをONにして抜きとります。

■使用ガソリン

エンジン 型式	6 R	18R	18R-B	18R-BR	M
ガソリン 使用	レギュラ	←	ハイオク	レギュラ	←

■トランクを開けるには



閉じるときは、上から手で押えつけるとロックします。

★注意

キーをトランク内には置かないようにしましょう。

■バック・ドアを開けるには



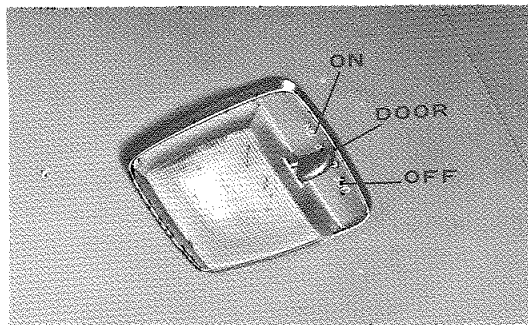
プッシュ・ボタンを押して、バック・ドアを持ち上げて開きます。

バック・ドアを開くとバック・ドア・ランプが付きまます。

閉じるときは、上から手で押えつめます。

解錠・施錠は写真を参照してください。

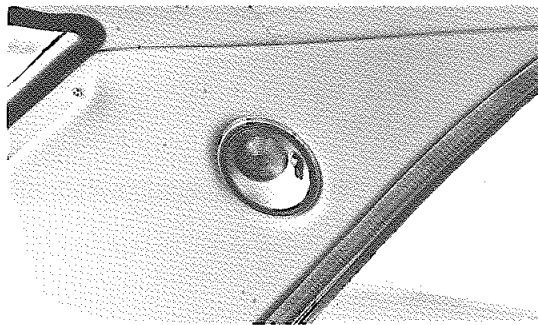
■ルーム・ランプとドアの関係は



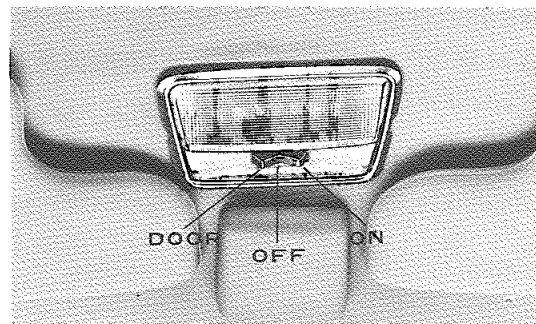
L 車

■リヤ・ルーム・ランプ

L車のみ



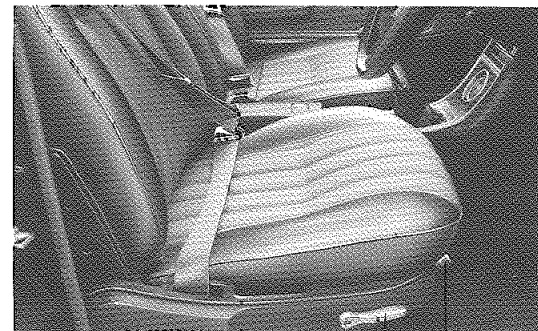
スイッチを押すと点灯します。



ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

- O N……………ドアの開閉に関係なく点灯
- D O O R………ドアを開いたときのみ点灯
- O F F……………ドアの開閉に関係なく消灯

シートについて



リクライニング・アジャスト・レバー

シート・アジャスト・レバー

■フロント・シートの位置を調整しましょう。

シートの位置調整は、正しいドライビング・ポジションで運転するために必要なことです。ペダルを十分に踏むことができ、ゆとりのある位置に調整しましょう。

前後位置調整

シート下のレバーを外側に押している間、前後に移動させます。

調整後は、シートがロックされたことを確認しましょう。

シート・リクライニング調整

〈セパレート・シートの場合〉

シート横のレバーを引き上げて、シート背もたれ

の角度と調整します。適切な位置に後レバーをはなすと固定されます。

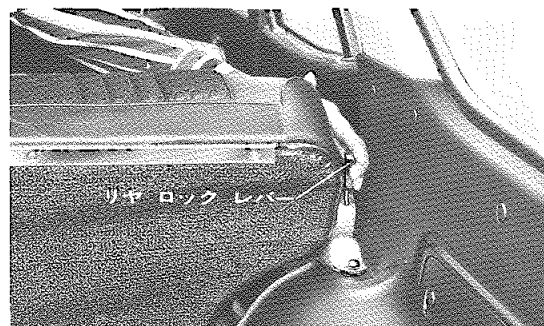
★注意

シートの位置調整は、車を運転する前に行なってください。

車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

リヤ・シート

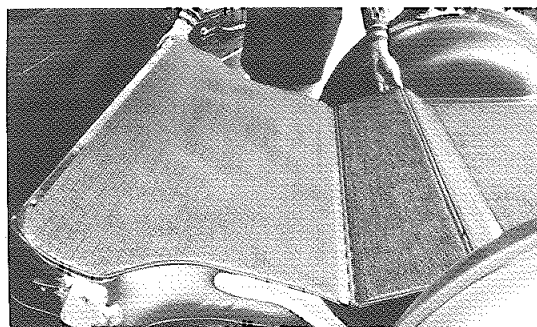
ワゴン車



背もたれは前に倒すことができます。

リヤ・ロック・レバーを前側にいっぱい引き、背もたれを倒します。

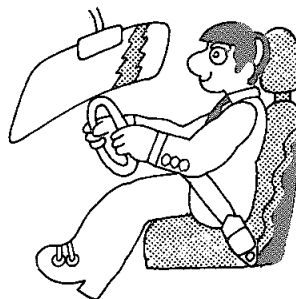
背もたれを前に倒したときのパネルを押さえつけると、背もたれは固定されます。



背もたれを起こすときはパネルを持ち上げておこし、後ろに押さえつけると自動的に固定されます。

■ヘッド・レストを正しい位置に前に押しつけて高さを2段に調整できます。上の位置で使用してください。

ヘッド・レストの正しい位置



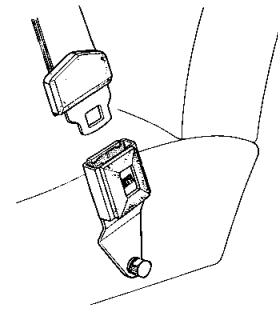
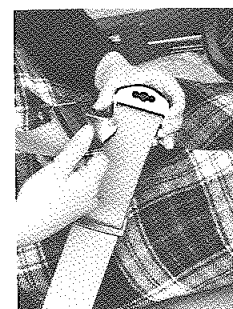
■セーフティ・ベルトを忘れずに

運転するときは、必ずセーフティ・ベルトをしましょう。ベルトはいつも清潔にしておきましょう。また破れがないか点検をしましょう。なお、汚れを落とすには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。

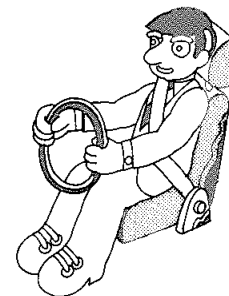
フロント・シート用は標準装備、リヤ・シート用はオプションです。

装着方法

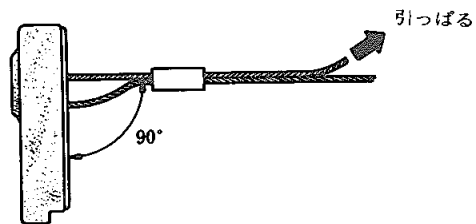
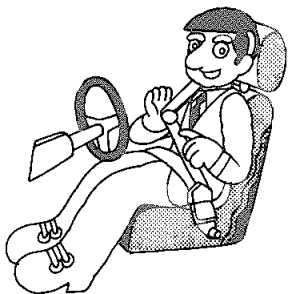
シートを運転しやすい位置に調節しセーフティ・ベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確認します。



ベルト装着の正しい状態



ベルトの調整

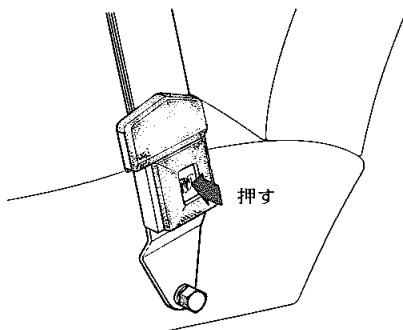


リトラクタからいっぱいひき出し、運転操作の妨げにならない長さに調整します。
ベルトをひき出すときは、リトラクタから直角にひき出してください。
胸とベルトとの間は、にぎりこぶしがはいる位の余裕があるように調整します。

★注意

1. 1本のベルトを2人で使用することは、やめてください。
2. 子供に使用することはやめてください。

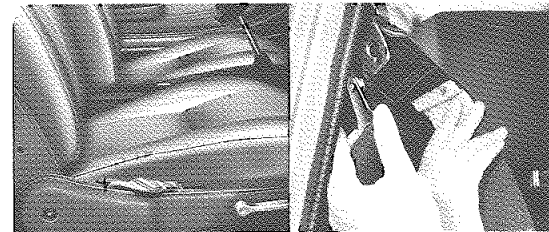
取りはずし



腰ベルトは、バックルをドア側へ向けて一度引き手を離せば自動的に格納されます。
取りはずした後は必ずシートの上に乗せておきましょう。
また、短時間車から離れ、再び運転をするときは、肩ベルトは、バックル・プレートに取り付けたままにしておいても差しつかえありません。

格納方法

空席のベルトは図のように格納しましょう。



腰ベルト

肩ベルト

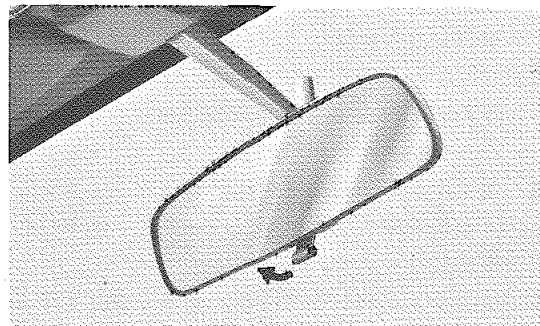
■ミラーの調整をしましょう

リヤ・ビュー・インサイド・ミラー

リヤ・ビュー・アウトサイド・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整しましょう。

防眩式リヤ・ビュー・インサイド・ミラーの調整



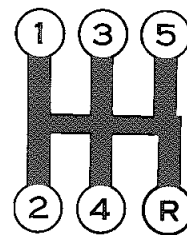
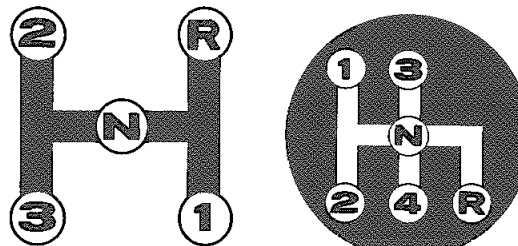
夜間走行の場合、後続車のライトがインサイド・ミラーに写り、まぶしいときに使用します。ミラーの下にあるレバーを手前にひくと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車が確認しやすくなります。

防眩が必要なくなったときは、レバーを押してもとの位置にします。

シフト・レバーの各レンジ

■マニュアル・トランスミッション

3段コラム・シフト 4段フロア・シフト

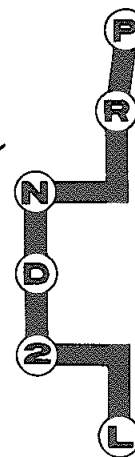


強く外側に寄せて
リバースにシフトする。

■オートマチック・トランスミッション

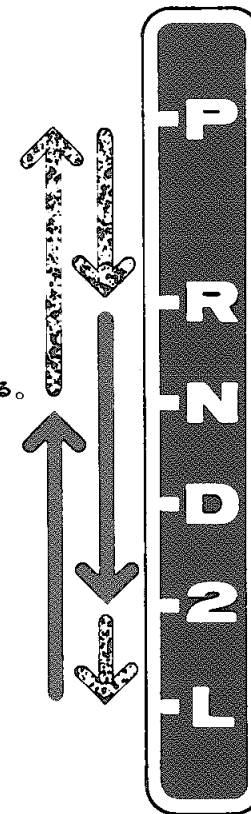
[各レンジへの入れ方]

コラム・シフト



フロア・シフト

- そのまま動かします。
- コントロール・レバー・ボタンを押して動かします。



パーキング・レンジ
駐車するときの位置、この位置でもエンジンを始動できます。

リバース・レンジ
車をバックさせるときの位置

ニュートラル・レンジ
エンジンを始動する位置

ドライブ・レンジ
通常走行する位置

セカンド・レンジ
エンジン・ブレーキが必要などの位置

ローレンジ
強いエンジン・ブレーキが必要などの位置

★注意

1. エンジンを始動するときは、必ずパーキング・ブレーキを引き④レンジにしてください。
2. ①と④へは、必ず車が完全に止まってから、入れてください。
3. ④以外ではエンジンを高回転にしないでください。
4. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、④レンジから①レンジへ切り換えることは危険です。必ずペダルを離して、から①レンジへ切り換えてください。

〔運転のしかた〕

○通常は①レンジで発進するとロー・ギヤからスピードによりセカンド・ギヤに、トップ・ギヤへと自動的にかわります。

○マニュアル・トランスミッション車と同様に、①レンジから発進し、②⇒①レンジへと手動の操作でも運転できます。

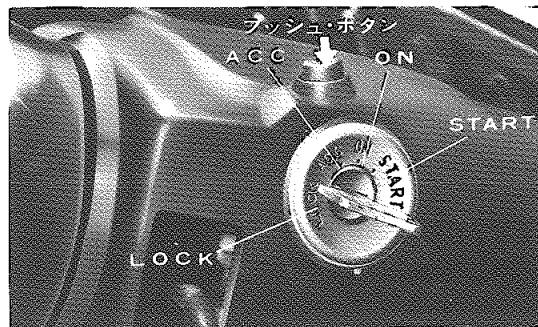
○急坂路をくだるときは、スピードに応じて①レンジまたは②レンジに入れて、エンジン・ブレーキをかけます。

○追い越しなどで急加速をしたいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、レバーは①レンジでも、ギヤはトップからセカンドまたはローギヤに切りかわって急加速ができます。

(キック・ダウン操作)

メーター、スイッチ類 について

■エンジン・スイッチ



キーをACCからLOCKの位置にするときは、プッシュ・ボタンを押さえて回します。ロックがはずれないときはハンドルを軽く左右にまわしながらエンジン・キーをACCの方向にまわすとはずれます。

★注意

1. エンジン停止時スイッチはLOCKまたはACCの位置にしておきましょう。長時間停止するときはLOCKの位置にしてください。ONの位置で放置するとバッテリーあがりの原因になります。
2. エンジンがかからないとき、無理にそのままSTARTの位置で長時間回さないでください。バッテリーがあがります。
3. エンジンを止めてラジオまたはカー・ステレオを長時間つけておくとバッテリーあがりの原因になります。
4. エンジンがかかっているときキーを、STARTの位置に回さないようにしましょう。スターターが無理にかみあい破損します。
5. 走行中はキーを絶対にLOCKの位置まで回さないでください。ハンドルがきれなくなり危険です。

■チョーク

オートマチック・チョーク付車は寒冷時、エンジンを始動するときに、自動的にチョークがはたらいで、始動を容易にするようになっています。オートマチック・チョーク付車以外はチョーク・ボタンで操作します。

オートマチック・チョーク

①エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏み込みます。

外 気 温	踏 む 回 数
+ 5℃以上	軽く 1 回
+ 5℃～-10℃	いっぱい 1～2 回
-10℃以下	いっぱい 2～3 回

②アクセル・ペダルから足を離しエンジンを始動します。

③しばらく暖機運転をします。

（オートマチック・チョークが働いている間は、アイドリング回転数は通常より高くなっているためアクセル・ペダルを踏んでいる必要はありません。）

④エンジンが暖まってから再びアクセル・ペダルを踏み込んでから離します。

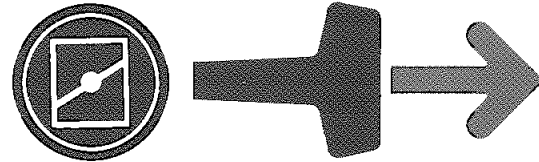
（アクセル・ペダルを踏み込むと、チョークがもどりアイドリング回転になります。）

★ 注意

E F I 車の寒冷時始動は、いったんエンジン・スイッチをONの位置にし、約1秒後にスターターを回しますと始動時間が短かく容易になります。

チョーク・ボタン

S Uキャブレタ付車



エンジンが冷えているときには

①チョーク・ボタンをいっぱいひきます。

②アクセル・ペダルを踏み込まないでエンジンを始動します。

（始動直後エンジンの回転が不円滑な場合は、円滑になるまで、ペダルを踏み込んでください。）

③始動後エンジンの回転数が2,000回転程度になるようチョーク・ボタンをもどして十分暖機運転をします。

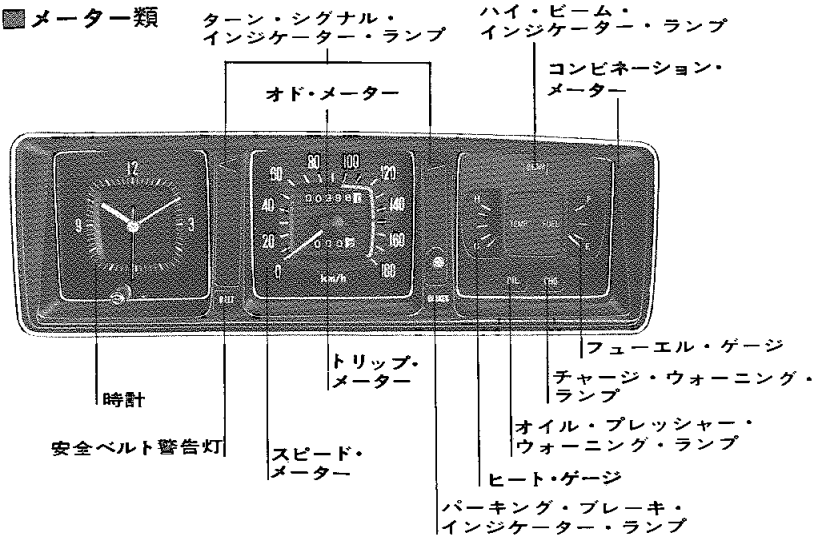
④エンジンが暖たまるにしたがって、チョーク・ボタンを徐々にもとにもどします。

★ 注意

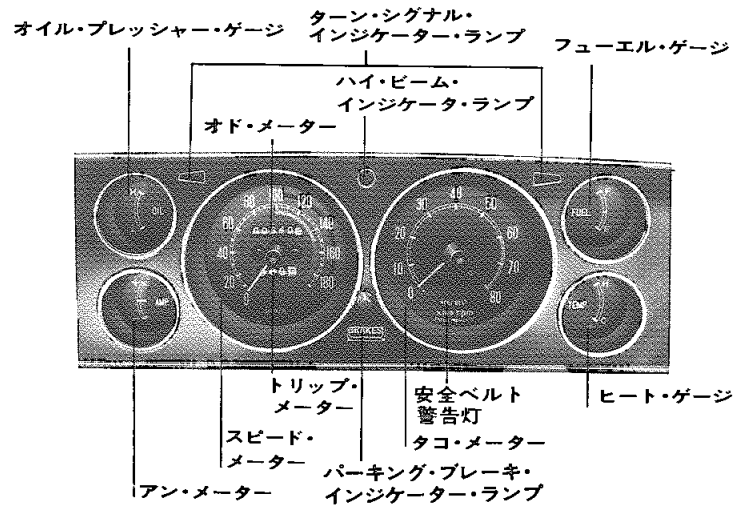
1. エンジンが暖まったらチョーク・ボタンは必ずもどしてください。

チョーク・ボタンを引いたままにしておくと、エンジンが不調になったり、燃料消費が多くなります。

■メーター類



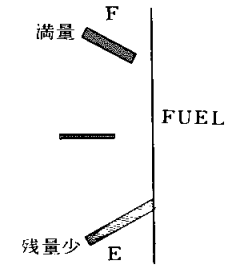
デラックス車, GL車



GSL車, L車

■フューエル・ゲージ <燃料計>

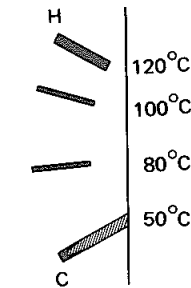
エンジン・スイッチがONのときにフューエル・タンク内の燃料の量を示します。エンジン・スイッチがON以外では、指針はEより下の位置にあります。



Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。

■ヒート・ゲージ <水温計>

エンジン・スイッチがONのときに冷却水の温度を示します。エンジン・スイッチがON以外では、指針はCより下の位置にあります。



指針が100°C以上を示すときは冷却水の有無、漏れ、およびファン・ベルトのゆるみ等について点検してください。

■**チャージ・ウォーニング・ランプ**〈充電警告灯〉

エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し(赤色)警告します。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■**オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ**
〈油圧警告灯〉

エンジン回転中、潤滑系統が異常の時に点灯(赤色)し警告します。点灯したままのときはオイル量を調べてください。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■**パーキング・ブレーキ・インジケーター・ランプ**

エンジン・スイッチがONのときパーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯(赤色)します。タンデム・マスタ・シリンダ・ブレーキのみは、そのままの状態、ブレーキ・ペダルを踏むとブレーキ配管系統に異常がなければ、ランプが消灯します。

■**ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ**

ヘッドランプがハイビームのとき、ハイビーム・インジケーター・ランプが点灯(青色)します。

■**ターン・シグナル・インジケーター・ランプ**

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケーター・ランプが点灯(緑色)します。

■**安全ベルト警告灯**

パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、点灯(赤色)し、セーフティ・ベルトを装着すると消灯します。

■**スピード・メーター**

指針は車の走っている速度を示し約100km/h以上になるとチャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき指針が振れることがあります。が異常ではありません。

■**オド・メーター**

走行した総距離をkmの単位で表わします。白地に黒文字は、100mの単位です。

■**トリップ・メーター**

オド・メーターと共に走行した距離を表示します。ある区間又は、期間に走行するきよりを知りたいとき0にもどして使用します。

0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを右へまわします。

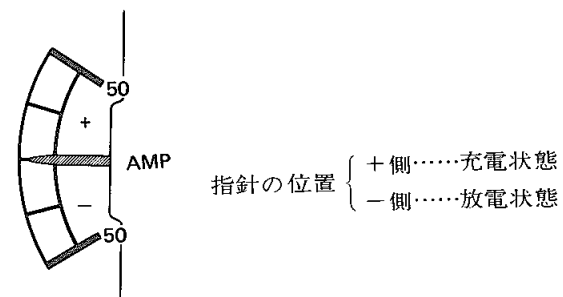
■**タコ・メーター**

エンジン回転数を示します。目盛の65(L車は60)以上は、赤色でレッド・ゾーンといい指針がレッド・ゾーンにあるときは、エンジンがオーバーランをしていることを示します。指針がレッド・ゾーンにはいらないようにしてください。

G S L車, L車

■**アン・メーター**

G S L車, L車

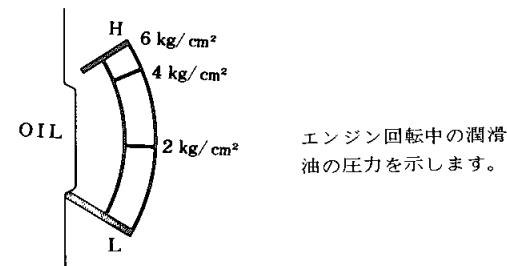


エンジン始動直後、指針は⊕側に1時大きく振れますがその後徐々にもどり、わずかに⊕側を指示する状態で静止すれば正常です。

エンジン始動後も⊖側を指示するときは、フォグ・ランプなどの電気の使いすぎか、充電系統の故障が考えられます。ヘッドランプ、フォグ・ランプなどを消してもなお⊖側を指示するときは点検が必要です。

■**オイル・プレッシャー・ゲージ**

G S L車, L車



エンジン回転数に応じて車種によって異なる範囲内で指示すれば正常です。

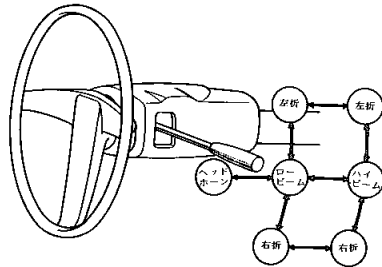
エンジン回転数を上げてても 1 kg/cm^2 以上を指示しないときは潤滑系統に異常がありますので、エンジンをただちに止めて、オイル量を点検してください。

オイル量が正規であれば、他のところに故障があります。

■時計

時刻調整は、つまみを手前に引いたまま、まわして行ないます。

■ターン・シグナル・レバー



ターン・シグナル・スイッチとして……

右左折のとき上図のように操作します。操作した側のターン・シグナル・ランプが点滅するとともにターン・シグナル・インジケータ・ランプが点滅します。

ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……

レバーをロー・ビームの位置から手前に引いている間ヘッドランプのハイ・ビームが点灯します。高速道路で先行車を追い越すときなどの合図として使います。

ディマー・スイッチとして……

ハイ・ビームとロー・ビームの切り換えをします。

ヘッドランプ切り換えスイッチとして……

夜間先行車や対向車のあるときはロー・ビームにしてください。

■残光式ヘッドランプ

L車のみ

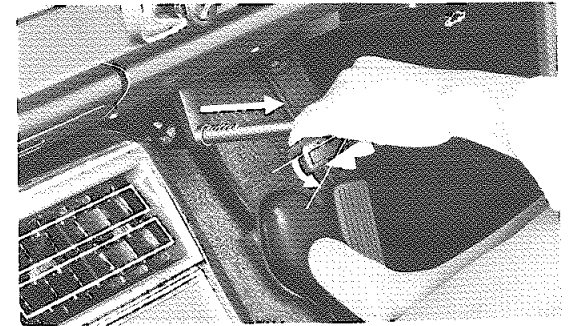
ヘッドランプを消したあと、ドアをあけてから、ターン・シグナル・レバーをヘッドランプ・ホーンの位置にすると、ヘッドランプが約20秒間点灯して消えます。

夜間の車庫入れ後の足もとの照明などにご使用ください。

残光式ヘッドランプの操作をした後、すぐ消灯したい場合は、ライト・コントロール・スイッチを引き出して、また、すぐ押しこんでください。

ヘッドランプは消灯します。

■パーキング・ブレーキ・レバー

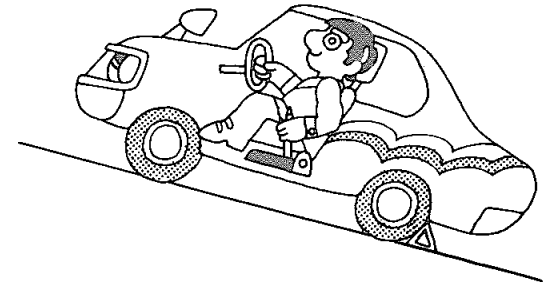


駐車時、いっぱい引いて使用します。

もどす場合は下に約 60° まわしてもどします。

坂路での駐車は……

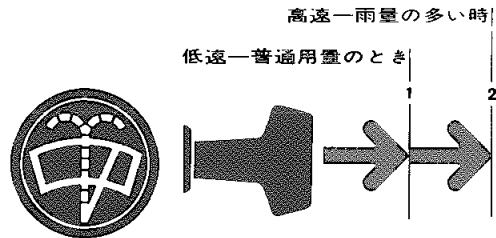
図のようにパーキング・ブレーキを引いた上ギヤをロー(上り坂)またはリバース(下り坂)に入れ、さらに輪止めをすると安全です。



■ワイパー&ウォッシャー・スイッチ

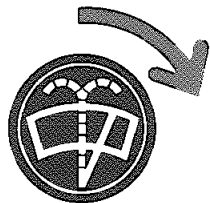
エンジン・スイッチがONのときに使えます。

ワイパー・スイッチ



スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。

ウォッシャー・スイッチ



ウインドウ・ウォッシャーはワイパーと連動式になっています。スイッチを右に回すとウォッシャー液が噴射され、同時にワイパーが数回作動し止まります。

ウインドウ・ガラスがよごれているときに使用します。

★注意

1. 汚れたまま使用するとガラスに傷がつきます。
2. ウインドウ・ウォッシャー液がカラのときは、スイッチをまわさないでください。まわすとポンプをいためる恐れがあります。

■ライト・コントロール・スイッチ

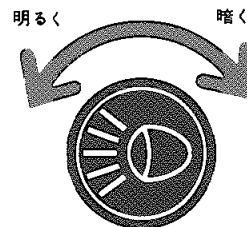


エンジン・スイッチに関係なくランプがつきます。
①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

灯 火 名	①	②
ヘッドランプ		○
スモール・ランプ, テール・ランプ	○	○
ナンバー・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロット・ランプ	○	○

メーター・パイロット・ランプの明るさ調整

<GL車以上>

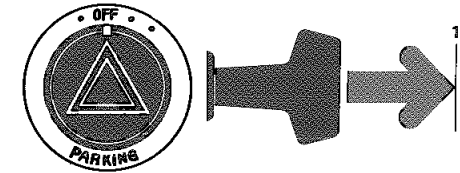


ライト・コントロール・スイッチを左右にまわすと、メーター・パイロット・ランプの明るさがかわります。

周囲の明るさに応じて調整してください。

■ハザード・ウォーニング&パーキング・スイッチ

ハザード・ウォーニング・スイッチとして



故障して、路上駐車するとき他車の追突防止のため、使用します。

スイッチを引くと、前後左右のターン・シグナルランプとともに、ターン・シグナル・インジケータ・ランプが点滅し、駐車していることを知らせます。

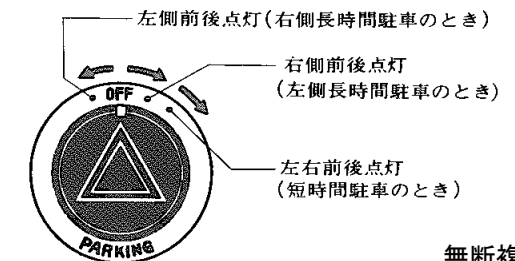
★注意

ハザード・ウォーニング・スイッチは非常の場合以外は使わないようにしましょう。

走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

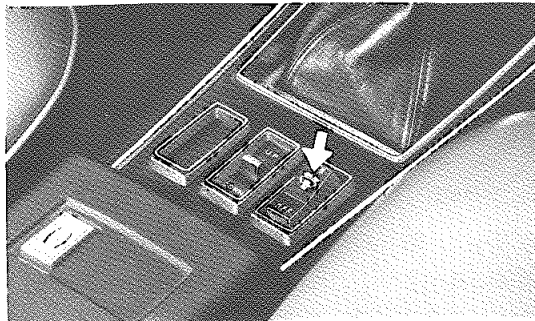
パーキング・スイッチとして

夜間路上駐車時使用します。



■ リヤ・ウインドウ・デフォガ・スイッチ

GL, GSL, L車



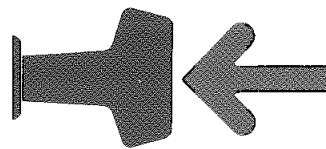
リヤ・ウインドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りをとります。

スイッチをONにすると、スイッチ内部の照明ランプが点灯し、作動していることを示します。

★ 注意

デフォガは消費電力が大きいので、リヤ・ウインドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。スイッチを入れっ放しにしておくと、バッテリーあがりの原因になりますのでご注意ください。室内の曇りを取るもので、雨水・雪を乾燥させる能力はありませんので必要以上に使用しないでください。

■ シガレット・ライター



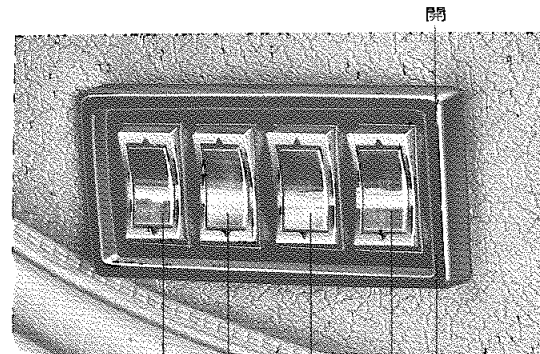
シガレット・ライターは、押しこんだらすぐ手を離してとび出すのを待ちます。

★ 注意

押さえつけたまましていると、シガレット・ライターをいためます。

■ パワー・ウインドウ・スイッチ

GL, GSL, L車オプション仕様



開
閉
左リヤ・ドア・ウインドウ
右リヤ・ドア・ウインドウ
左フロント・ドア・ウインドウ
右フロント・ドア・ウインドウ

ドア・ウインドウ・ガラスはすべてスイッチで開閉できます。

運転席のドアには、全ドアのウインドウ・ガラスがリモート・コントロールできるマスター・スイッチが取り付けられています。

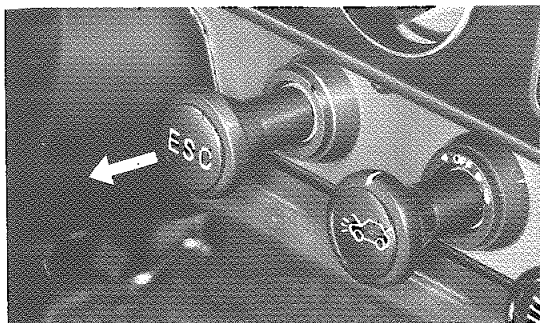
★ 注意

ウインドウの開閉は、エンジン・スイッチがONの場合にしかできません。

■ESC (電子制御式スキッド防止装置)

GSL, L (5段ミッションを除く)車
オプション仕様

運転のしかた



<走行前のチェック>

1. エンジン・スイッチをSTARTの位置にする
とスターターが回転し、同時に赤色のパー
キング・ブレーキ・インジケータ・ランプが
点灯します。点灯しなければヒューズ、電球
が切れていますのでサービス工場へ連絡し
てください。また電球切れはブレーキペダルを
踏まずパーキング・ブレーキのみ引いた場合
にも点灯するのでチェックできます。
2. エンジンをかけてからブレーキペダルを踏み
チェック・スイッチを引っぱると、スイッ
チノブに埋込まれた緑色のオベレーション・ラ
ンプが点滅しエンジン・ルームから作動音が
聞こえます。緑色ランプが点滅しない場合は
ESCに故障が生じていますのでサービス工
場へ連絡してください。

3. 以上のチェックをして異常がなければ走行し
てください。ブレーキを踏めばESCは自動
的に作動します。作動時にはオベレーション
ランプが点滅します。

<走行中のチェック>

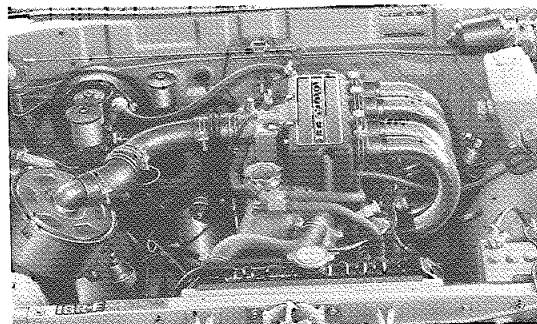
1. 走行中、赤色のパーキング・ブレーキ・イン
ジケータ・ランプが点灯した場合はESC
に故障が生じていますのでサービス工場へ連
絡してください。

★注意

万一、ESCが走行中、故障した場合には、普通
のブレーキ機構に戻ります。

■EFI (電子制御式燃料噴射装置)

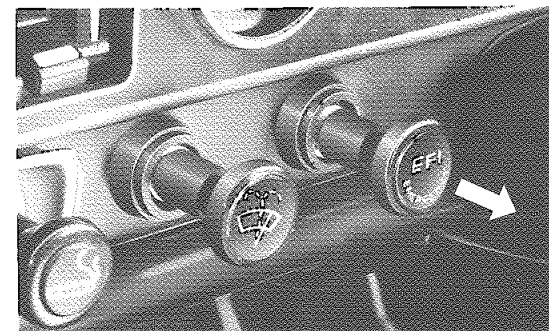
GSL系EFI仕様車



寒冷時始動について

エンジン・スイッチを、いったんONの位置にし
約1秒後にスターターを回しますと、始動時間が
短かくて容易になります。

緊急時には



万・エンストや事故などで、エンジンが停止した
時、エンジン・スイッチがONの状態でも、燃料
ポンプの働きを約2秒後に止めます。
この場合スイッチを手前に引けば燃料ポンプは前
と同じように働きます。

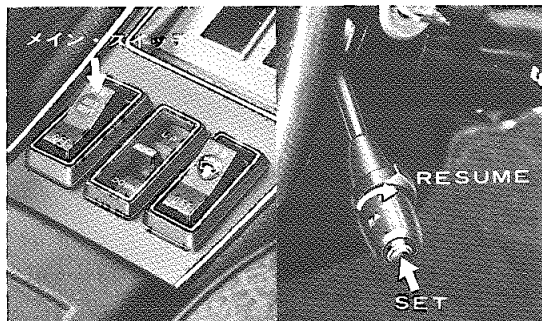
“押しかけ”の時に利用してください。

★注意

スターター・モーターを回して始動するときは引
く必要はありません。

■オート・ドライブ

GL, GSL, L車オプション仕様



オート・ドライブとは車速が一定に保たれる装置で、車速が60km/h～120km/hでセットできます。50km/h以下になると自動的に、オート・ドライブは解除されます。

希望速度にセットする時

最初に、コンソール・ボックス上のメイン・スイッチをONにし、希望の車速になったらターン・シグナル・レバーの先端のセット・ボタンを押してアクセル・ペダルを離してください。セット・ボタンを離れた時の速度にセットされます。

★注意

アクセルをいっぱい踏んだ瞬間には、メイン・スイッチをONにしないでください。

オート・ドライブが解除される時

- ①ブレーキ・ペダルを踏んだ時
- ②クラッチ・ペダルを踏んだ時
(マニュアル・トランスミッション車)
- ③シフト・レバーをNにした時
(オートマチック・トランスミッション)
- ④パーキング・ブレーキを引いた時
- ⑤メイン・スイッチをOFFにした時

車速を変更する時

(1)微増速の場合

セット・ボタンを押してすぐ離すと、もとの車速から $\oplus 5 \text{ km/h}$ の範囲内で増速することができます。

(2)微減速の場合

セット・ボタンを押しつづけると、減速されますので、希望の車速になったら、セット・ボタンを離してください。

(3)増速の場合

アクセルを踏み込み、希望の車速になったら、セット・ボタンを押してください。

解除前の設定速度に戻したい時

オート・ドライブで走行中、ブレーキまたはクラッチを踏んだためにオート・ドライブが解除された場合再びもとの車速にもどしたい時は、レバーをRESUMEの方向へ回します。

ただし、車速が60km/h～120km/hの範囲にある場合に可能です。

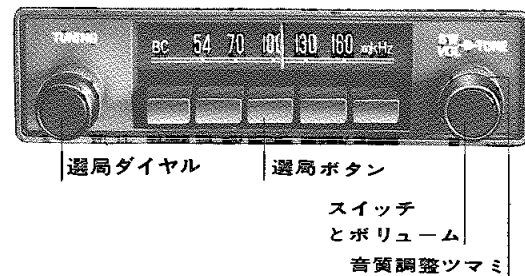
運転を楽しく、快適にー

■ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

プッシュ・ボタン式

デラックス車



[電源スイッチとアンテナ]

ラジオのスイッチを押すと、電源が入り同時にアンテナが1段とび出します。

アンテナを、さらに延ばしたいときは、手でひっぱりだします。

もう1度スイッチを押すと電源は切れますが、アンテナは下がりません。

アンテナはいっぱい押しこむとロックされるので次に使用するときには、再びラジオの電源スイッチをONにします。

[選局ボタンのセットのしかた]

1. ボタンの一つをいっぱい引き出す。
2. 左側選局つまみで望みの局に合わせる。
3. 引き出したボタンをいっぱい押しこむ。
4. 他のボタンも同じ方法でそれぞれの局にセットできます。

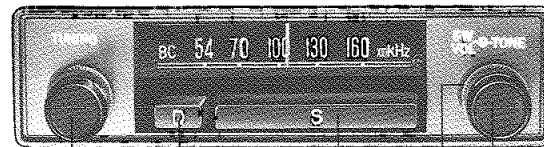
放送局の違う地域へ行ったなら選局しなおしてください。

[選局ダイヤル]

選局ボタンでセットした局以外の放送局を選ぶときは左側の選局ダイヤルで合わせてください。

AMサーチ・チューナ式

GL, GSL車



サーチボタン
感度切替ボタン
選局ダイヤル
音質調整つまみ
スイッチ&ボリューム

[選局のしかた]

サーチ・ボタンを押すと、指針が自動的に移動し次に受信できる局で止まります。

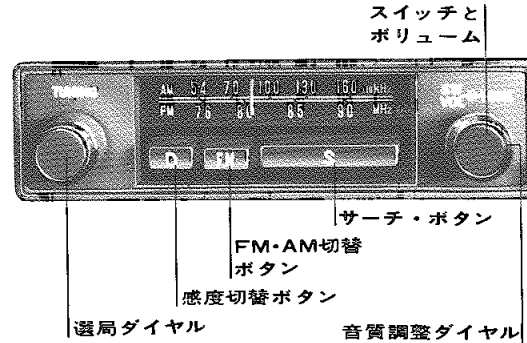
[感度の切替]

山間部などの電波の弱い地域や、遠くの放送電波をキャッチしたいときに、感度切替ボタンを押し込んでください。

もう一度ボタンを押すともとの位置にもどり、近距離の局のみ選局できます。

AM・FMサーチ・チューナ式

L 車

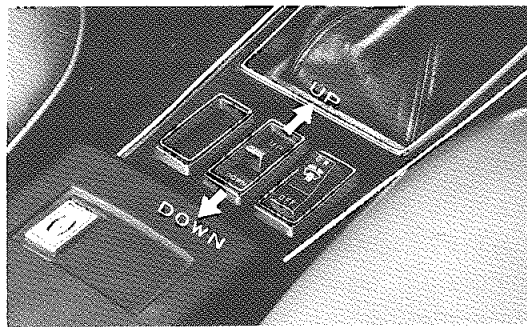


FMボタンを押し込むとFM放送が受信できます。

FMボタンをもう一度押すとボタンの位置がもとにもどりAM放送受信状態となります。

選局のしかたと感度の切替えはAMサーチ・チューナ式と同じです。

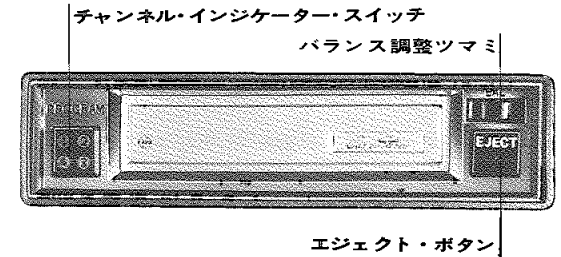
[スイッチとアンテナ]



スイッチの前側を押すとアンテナは自動的に上がります。後側を押すとアンテナは下がります。

■カー・ステレオ

オプション仕様



エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。

カートリッジ・テープをまっすぐ差しこむと自動的にチャンネル・インジケータ・ランプがつき演奏が始まります。

[バランス調整]

バランス調整つまみをまわすと、音が左右に移動します。

もっとも、ステレオ感のもりあがる位置にこのつまみを調整してください。

[音量調整]

ラジオの音量調整つまみをまわして適当な音量に調整してください。

[音質調整]

ラジオの音質調整つまみをまわしてお好みの音質に調整してください。

[チャンネル切替]

演奏中、スイッチを押すと他のチャンネルに切替えることができます。

[演奏停止]

エジェクトボタンを押すとテープが自動的にとび出し演奏はとまり、電源も切れます。

★注意

カートリッジ・テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。

■ヒーター

温度調整レバー

WARM 室内暖房
VENT 室内循環

内外切替レバー

DEF ガラス曇りどめ
FRESH 外気導入
RECIRC 内気循環

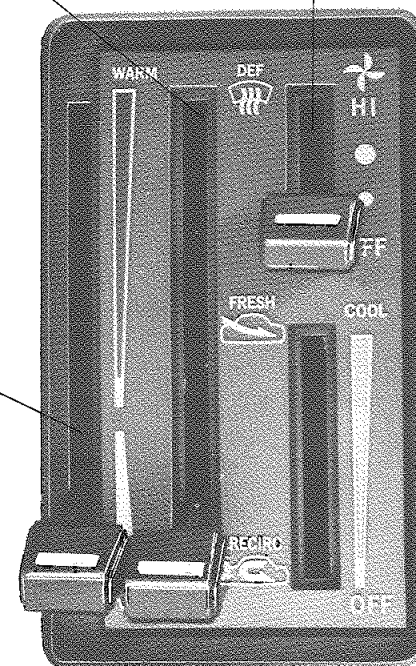
ファン・スイッチ

HI 強い風
● 中間
○ 弱い風
OFF 停止

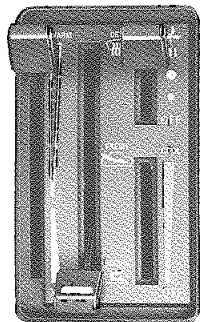
ヒーターは次のような機能をもっています。

- ①ヒーター(暖房用)として
- ②デフロスタ(曇りどめ)として
- ③ベンチレーション(換気用)として

スイッチ・レバー操作は、次のようにします。

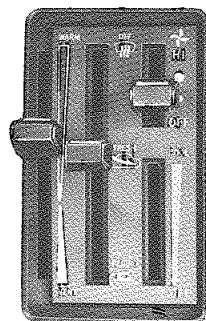


1. 内気による室内暖房の操作



外気がとくに冷たいときは、外気をシャット・アウトし、室内空気を暖めて循環させます。窓ガラスが曇ってきたときは、外気導入にします。

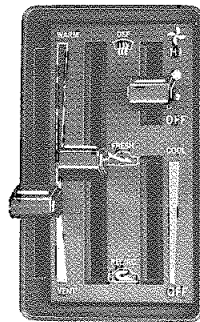
2. 外気による室内暖房の操作



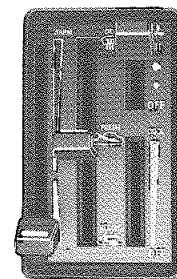
WARMとVENTとの間をもっとも快適な位置に調整してください。

WARMに近づける程、足もとの風が強くなり、VENTに近づける程、ベンチレーション・ルーバーからの風が強くなります。

3. 車内を暖めながら換気する操作

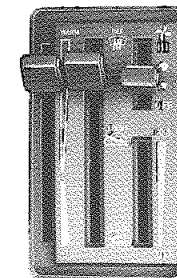


4. 強制ベンチレーション<夏期のベンチレーション>



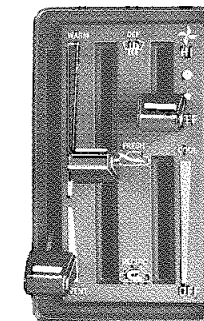
サイド・ベンチレーターも使用すると一層効果があります。

5. ガラス曇りどめの操作

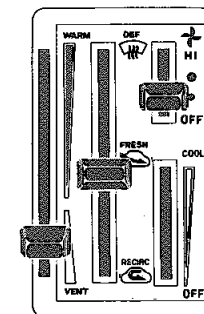


曇り止めのためにはサイド・ガラスを少し開けると一層効果があります。

6. ファン停止でも新鮮な空気が導入できる操作

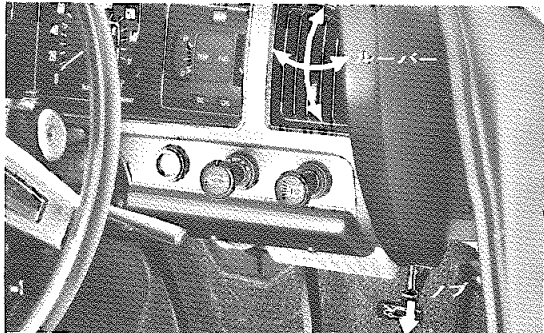


7. 頭寒足熱の操作



長距離走行の場合ご使用ください。

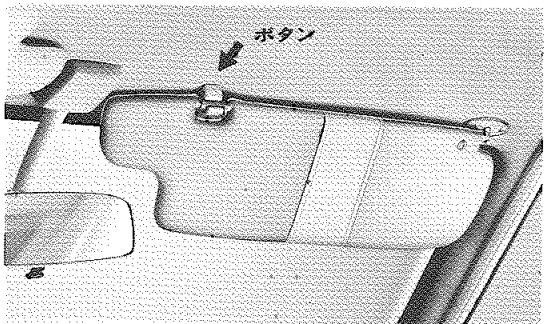
■サイド・ベンチレーター



車内の空気を入れかえたいときノブを引いて使用します。

ベンチレーターから新鮮な空気ははいります。また、中央部のルーバーを動かすことにより風向きの調節もできます。

■サン・バイザー



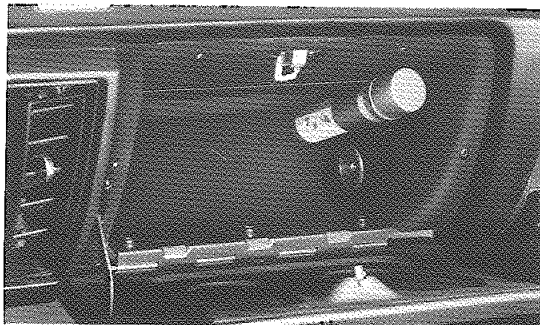
ホルダーからはずすと、横にまわすことができます。

■グローブ・ボックス



キーで解錠してつまみを左にまわします。また、ライト・コントロール・スイッチがONのときにふたを開くとボックス内右横のマップ・ランプがつきます。なおグローブ・ボックスの施錠、解錠はマスター・キーで行ないます。

■保安炎筒



非常事態が発生したときに使用します。使用法は保安炎筒に書いてある説明をよく読んで万一に備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。本体底部に明示されていますので確認しておきましょう。発炎時間は5分間です。

★注意

非常信号用としてのみご使用ください。使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取り扱いには十分注意してください。

また、トンネル内で使用すると視界がわるくなり危険ですので絶対使用しないでください。トンネル内でけむると視界がわるくなり危険です。

